

第7回議会運営委員会会議録

- 1 開会日時 平成30年7月30日（月）午前11時0分
- 2 閉会日時 平成30年7月30日（月）午後0時12分
- 3 会議場所 議会委員会室
- 4 出席委員
 - 3 番 佐藤 武君
 - 4 番 佐々木雄司君
 - 8 番 治徳 義明君
 - 9 番 原田 素代君
 - 12 番 北川 勝義君
 - 13 番 福木 京子君
 - 16 番 下山 哲司君
 - 18 番 金谷 文則議長
- 5 欠席委員
なし
- 6 説明のために出席した者
 - 副 市 長 倉迫 明君
 - 教 育 長 内田 恵子君
 - 総合政策部長 作間 正浩君
 - 総 務 部 長 前田 正之君
 - 財 務 部 長 藤原 義昭君
 - 教 育 次 長 藤井 和彦君
 - 総 務 課 長 原田 光治君
- 7 事務局職員出席者
 - 議会事務局長 奥田 吉男君
 - 主 幹 黒田 未来君
- 8 協議事項
 - 1) 平成30年8月行事予定について
 - 2) 平成30年9月定例会の会期日程（案）について
 - 3) その他
 - ・ 赤磐市空家等対策協議会委員の選出について
 - ・ その他
- 9 議事内容 別紙のとおり

午前11時0分 開会

○委員長（下山哲司君） 皆さんおはようございます。

ただいまから第7回議会運営委員会を開会いたします。

開会に先立ち、議長より御挨拶をお願いいたします。

議長。

○議長（金谷文則君） 皆さん御苦労さまでございます。

台風12号による被害が思ったほどなくて、安心をいたしました。警報が出たりしたことにつきまして、執行部の皆さん方、大変だったと思います。御苦労さまでございました。また、地域のほうでも大変なことはなかったということで、安心をいたしました。きょうは日程調整ということでございますので、よろしくお願いをいたします。

以上です。

○委員長（下山哲司君） ありがとうございます。

本日は、市長より欠席の申し出が出ておりますので、御報告いたします。

それでは、これから協議事項に入ります。

協議事項1番目、平成30年8月行事予定について。

はい、議会事務局長。

○議会事務局長（奥田吉男君） それでは、お手元の資料について御報告をいたします。

議会行事予定（案）、8月からの行事予定表を見ていただきたいと思います。

まず、8月1日水曜日10時から議会広報編集特別委員会になります。

2日木曜日は10時から議会改革検討委員会となります。

16日木曜日は10時から産業建設常任委員会。

17日金曜日は10時から総務文教常任委員会となります。

20日月曜日が10時から厚生常任委員会。

8月22日13時30分から議会運営委員会、14時30分から議会全員協議会となります。

8月30日から9月定例会の開会と予定をいたしております。

以上です。

○委員長（下山哲司君） ありがとうございます。

はい、総合政策部長。

○総合政策部長（作間正浩君） それでは、今御案内いただいた以外の市の行事予定について主なものを御紹介いたします。

8日ですが、13時30分から岡山県市長会議、サン・ピーチ岡山で副市長が出席いたします。

9日木曜日ですが、地域見守りネットワーク事業に関する協定締結式を開催いたします。市長のほう、出席いたします。

それから、20日になりますが、16時から赤磐市複合型介護福祉施設名称選考委員会、熊山支

所にて市長が出席いたします。

23日木曜日ですが、午前中は9時から総合教育会議、それから午後に13時30分から定例記者懇談会、それから15時から教育委員会の定例会、19時30分から赤磐市保健衛生関係事業調整会議ということで、市長等が出席いたします。

それから、28日火曜日ですが、10時から赤磐市東京2020オリンピック国内キャンプ誘致実行委員会設立総会のほうが開催されます。これは、三役出席でございます。

それから、9月に入りまして、2日の日曜日ですが、8時から赤坂地域球技大会、10時から赤磐市障がい者の集いというふうになっております。

以上でございます。

○委員長（下山哲司君） ありがとうございます。

ただいま説明が終わりました。

ただいまの説明について委員さんから何か質疑はございませんか。ありませんか。

○教育次長（藤井和彦君） 委員長。

○委員長（下山哲司君） はい。

○教育次長（藤井和彦君） 教育委員会のほうから、8月28日に開催予定のオリンピックのキャンプ誘致の実行委員会の補足説明をさせていただきます。

これにつきましては、2020年の東京オリンピック開催に伴いまして、赤磐市に海外のホッケーチームの事前キャンプを誘致しまして、赤磐市のスポーツ振興と商工観光など赤磐市を広くアピールできるように実行委員会を設立するものでございます。実行委員会の構成員といたしましては、市長、副市長、議長、総務文教委員長を初めといたしまして、商工会長、各地域の区長・町内会長、体育協会会長など約40名で構成する予定でございます。

キャンプ誘致の実行委員会の設立の補足説明とさせていただきます。

以上でございます。

○委員長（下山哲司君） ありがとうございます。

○委員（原田素代君） 委員長。

○委員長（下山哲司君） 原田委員。

○委員（原田素代君） 今の説明の案について御質問をさせていただきたいんですけど、単市で実行委員会を組むということですが、県としての、恐らくこういった受け入れのための団体もおありになるんじゃないかと思うし、近隣の自治体もしくは競技ごとに、同じ競技であればそことの連携した実行委員会とか、そういうさまざまなバリエーションがあると思うんですけど、そういうことはお考えにならずに単市だけで立ち上げるということなんですか。そこを教えてください。

○教育次長（藤井和彦君） 委員長。

○委員長（下山哲司君） 教育次長。

○教育次長（藤井和彦君） 本市実行委員会につきましては、単市で立ち上げまして、先ほどの委員会の中のメンバーに、ちょっと説明が不足しておりました中に、岡山県の環境文化部のスポーツ振興課長なども入っていただきまして、関係団体と連携をしていきたいというふうに思っております。

以上です。

○委員長（下山哲司君） 原田委員。

○委員（原田素代君） 済いません。ありがとうございました。

もしわかれれば、この競技を狙ってるっていうのはおありなんでしょうか。

○委員長（下山哲司君） 教育次長。

○教育次長（藤井和彦君） 競技につきましては、ホッケーチームの女子。

○委員（原田素代君） ホッケーの女子ですね。

○教育次長（藤井和彦君） はい。チームを狙っております。

○委員長（下山哲司君） よろしいですか。

○委員（原田素代君） はい、ありがとうございます。

○委員長（下山哲司君） 他にございませんか。

○委員（北川勝義君） ちょっといいか。

○委員長（下山哲司君） 北川委員。

○委員（北川勝義君） こだわることはねえんじゃけど、市ので2日のときに赤坂地域球技大会というのがあります。

○委員長（下山哲司君） はい。

○委員（北川勝義君） これなあ、僕はけちをつけるんじゃねえんじゃけど、後ろの行事予定表へ入れるべきじゃと思うてなあ。赤坂だけがそこへ入っとるというのは。少年ソフトやこうで、吉井の少年ソフトやこうでも、そねえなんだけ入りようたから。9月2日の。

○委員長（下山哲司君） 9月2日ですよ。

○委員（北川勝義君） うん。赤坂地域球技大会というのがある。これ、地区の、赤坂なら赤坂とか山陽とかあれじゃから、これの行事予定表の1枚の半分があるが。これへつけたほうがええんじゃねえかと思うたんです。少年ソフトやこうは入れてなかったからな、吉井地区。地区じゃのうて、全体の。障がい者やこうするのはええし、かえって高陽の盆踊りでもこういうようにしとんじゃけん、そうするべきじゃねえかなとちょっと思うたり。それ、何か特別にこれだけはせにゃあおえんのんかなと思ってちょっと聞きたかったんじゃけど、どんなかな。

○委員長（下山哲司君） 総合政策部長。

○総合政策部長（作間正浩君） 行事予定のほうへ入れればいいと思います。今お出ししとるのは8月の行事予定ということで、9月が入ってなかったということで。

○委員（北川勝義君） 下山さん、ええか。

○委員長（下山哲司君） 北川委員。

○委員（北川勝義君） あのなあ。

○総合政策部長（作間正浩君） はい。

○委員（北川勝義君） もうそれでええんじやったらそういう決め方せられえということと言
よんで、僕は決まりの話ししょん。赤磐市全体でやるのはこの赤磐市の行事予定表、市と議員
ので載せりゃあええと思うんじや。せえで、そうじゃねえ、地域で、例えば前回7月にあった
のは吉井地域で少年ソフトボール大会があるとか、それからすさい納涼祭りがあるとか惣分の
祭りがあるとか夏祭りがある、これはもうこういうのに載せてほしいから、熊山地区の花火じ
ゃったらこけえ載せりゃあええんじや。赤磐の花火じゃけん、こけえ載せてほしいということ
を言よんで、こっちへ載すべきじゃというて言ようるわけ。

○総合政策部長（作間正浩君） はい、わかりました。

○委員（北川勝義君） わからんのかな、言よったことが。

○委員長（下山哲司君） この、地域というのが入っとるから地域だけの行事でしょうという
指摘なんじゃから。

○総合政策部長（作間正浩君） はい。

○委員長（下山哲司君） よろしいですか。

○総合政策部長（作間正浩君） はい。

○委員長（下山哲司君） 理解できましたか。

○総合政策部長（作間正浩君） はい、わかりました。はい、ありがとうございます。

○委員長（下山哲司君） ほんなら、そういうことで。

わかったと言ようりますんで。これは、消してから皆さんには出せるんじやな。

○議長（金谷文則君） ちょっと済いません。

○委員長（下山哲司君） 議長。

○議長（金谷文則君） そしたら、8月15日の忠霊塔の参拝、これ、赤坂の支所で赤坂だけが
いつも参加しとるんですけど、ほんならそれも赤坂地域の……。

○委員（北川勝義君） 違う。それは全部行きょうんだ。よそは案内がねえから。

○議長（金谷文則君） 僕はこの赤坂の球技大会の話聞いたのは、赤坂公民館の企画という
かあれだから載せるんだみたいなことを前に聞いた覚えがあるんだけど、それはもう、地域だ
から……。

○委員長（下山哲司君） よろしいですか、議長。

○委員（北川勝義君） 議長、ちょっと待って。

○委員長（下山哲司君） 北川委員。

○委員（北川勝義君） 山陽も忠魂碑があって、図書館の裏へあって。旧図書館の裏へあるん

じゃ、東側へ。そのときはこっちのだけ載せようるだけで、そっちは、これ赤坂何か全体でするんじゃ。何で山陽載せんのかというたら、山陽は案内がそこまで、直に言うんか、来ようらのんじゃという話で、赤坂だけいつも載せとらなあ、こっちには。そういな感じじゃ。それは、じゃけど今金谷さんが言うた、どう扱うというて、公民館の扱いじゃからというて、公民館が、おめえ、ちょっと失礼な話、公民館が忠霊碑やこう祭ってもろうたらたまったもんじゃねえもん。おめえ、当たり前だ、政教分離じゃもん。

○議長（金谷文則君）　じゃから……。

○委員長（下山哲司君）　議長。

○議長（金谷文則君）　今の忠魂碑のやつも、赤坂のじゃったらほかのページでいきやあええと思うし、それから今の赤坂の公民館という、一応公民館だけでも赤坂だけのことだったらそれは別のページに載せるという形で、今のようにルールづけしてもらやあ、それでええんじゃねえかなという意見で、今の公民館の話だけがあったから、この忠魂碑のほうもほかでもええんじゃねえかなという意見を言わせていただいたわけです。

○委員（北川勝義君）　公民館か。

○議長（金谷文則君）　うん。赤坂の公民館じゃから、これは。

○委員（北川勝義君）　違う、違う。僕の。ちょっとええかな。

○委員長（下山哲司君）　そういう意味じゃない。

○委員（北川勝義君）　違う。下山さん、ちょっとええか。

○委員長（下山哲司君）　北川委員。

○委員（北川勝義君）　僕が言よんのは、少年ソフトボールじゃとか吉井地域の少年ソフトボール、じゃから赤坂地域の球技大会というたりするものはこの後ろへ載すべきじゃということ言いたかったんで。それから、忠魂碑というのは、今言よんのは、公民館が忠魂碑をやるのはもってのほかじゃ。政教分離じゃ。いけん。

○議長（金谷文則君）　それ言ようらへん、全然。

○委員（北川勝義君）　いやいや。今ちょっと公民館、おえんとかええとかじゃなくて、忠霊塔のやるのは、赤坂は昔から何かやりようた。赤坂はやるんじゃと。それで、山陽もやりようたことがあった。

○議長（金谷文則君）　うん、やりようた。

○委員（北川勝義君）　それ言ようた。じゃから、山陽は議長と来てくれというて、僕と議長、2人、山田さんで行ったぐれえ、もうねえんじゃと。場所がわからん言うたけえ、僕はついていっていったんじゃけど。もう山陽は口頭で言うだけで、正式には言わんのんじゃというから、それでなっとったと思うたんで。これは公民館の関係じゃのうて、忠霊塔のは参拝は正式に案内が来るんじやろう。来よんじやろう、今。挨拶してくれとか。

○議長（金谷文則君）　うん。じゃけん、私の言い方が。済いません、委員長。

○委員長（下山哲司君） 議長。

○議長（金谷文則君） 私の言い方がちょっと悪かったかと思うんじゃないけど、今の地域ということになれば、忠魂碑は赤坂の地域のことじゃから、赤磐全体のことじゃないから、それは今の後ろのページでええんじゃないかなんかということが1つと、それからもう1つ、公民館と言うたのは、赤坂地域球技大会というてなっとるけど、これは赤坂公民館の行事としてやりようられるから、それだけ地域のことであれば、それをほんなら後ろに回したほうがええんですかという話を言うただけなんです。

○委員（北川勝義君） ちゃうちゃう。いや、じゃあから僕が、吉井地区の少年ソフトはこっちに回しとるがなということを言いたかったわけ。

○委員長（下山哲司君） それでは、ちょっと一言だけ。

この忠魂碑、旧町のときの吉井がやっとなんてです。じゃけど、ずんずんその慰霊祭を祭るのを縮小するということで、吉井がもう大々的にやらんようになって。山陽は、合併した当時はやりようられた。だけど、赤坂はずっと同じようにやりようられるんで、じゃからその扱いをここへ載せとるというんだったら、それで妥当なんです。案内してやりようたやつだから。

○委員（北川勝義君） ちゃうちゃうちゃうちゃう。下山さん、ちょっと待って、それ。

○委員長（下山哲司君） 北川委員。

○委員（北川勝義君） そうじゃのうて、そこのことまで。僕は、金谷さん、忠霊塔の参拝なんかは余り思わなんだんが、結果、実質的に正規というたら言い方悪いけど、続いてきとんのは、赤坂だけ続いてきとんで。

○委員長（下山哲司君） そう、そういうことなん。

○委員（北川勝義君） 公民館でも何でもいいけど、赤坂がやるんじゃないたら、もし後ろに載せるのは載せてもいい、委員長の言ようるように、ずっとあるけん、これだけ載せてきょうたんで、山陽やこう案内がねえという。吉井もやらんが、熊山も。個々でやりようるだけじゃから、そういう意味でやっとなんじゃたら僕はええと思うたんじゃけど、それから球技大会というのは、公民館がやるけん、どうこう。それはどこも公民館が主催でやりようんじゃ、そりや球技大会は。じゃけん、そこんところは回したほうが、後ろがええかなと。

別に、今金谷議長が言われた、忠霊塔のがそっち持っていきやあええんじゃないたら、目立たんからなと思うただけで、そりやあ、下山さん、どっちでもええです。

○議長（金谷文則君） あと、委員長、済いません。

○委員長（下山哲司君） 議長。

○議長（金谷文則君） 今、予定表に載ってるような形でしていただいたほうが。皆さん、最後、ほかの地域はなくなったところが今残つとるということで、赤磐市の忠魂碑の慰霊祭ということで、赤坂地域のほうへも、議長に案内が来とりますので、行っておりますので、そのままにしておいていただければと思います。済いません。訂正させてください。

○委員長（下山哲司君） それでは、2日の分は削除してください。それで、後ろの用紙に載せてください。

福木委員。

○副委員長（福木京子君） オリンピックの設立の分ですけど、28日にするんですけど、それでこの議運があったら、新聞報道されるんですかね、これ。というのが、大体、議員私たちは知っとるけど、あとの委員さんはこのことをわからないんですよ。ほいで、8月22日に全員協議会があって、ここでわかって……。

○委員（北川勝義君） いや、わかるが。これが行くんじゃけん。

○副委員長（福木京子君） いいか。

○委員（北川勝義君） 予定表が行くんじゃけん、わかるがな。

○副委員長（福木京子君） さっき。もう、きょう行くのか。

○委員（北川勝義君） 予定表行くがな、これしたら。

○副委員長（福木京子君） これ、終わったらすぐ行くのか。

○委員（北川勝義君） 予定表が行くが。

○委員長（下山哲司君） 新聞のほうがちよっと早い。

○副委員長（福木京子君） うん。新聞が絶対早く出ると思うんよ。また後からだというふうなことにならないように、何か。

○議会事務局長（奥田吉男君） いや。予定表は、もうきょう、郵送かけますので。

○副委員長（福木京子君） きょう行くのか。そしたら、見てないほうが悪いということになるんですかね。

○議会事務局長（奥田吉男君） 手元に届いてます、議員さん。

○副委員長（福木京子君） ちょっとそこが気にはなりました。はい、いいです。

○委員長（下山哲司君） 他にございませんか。

なければ、次に進んでよろしいですか。

○委員（北川勝義君） ちょっと、あのう。

○委員長（下山哲司君） 北川委員。

○委員（北川勝義君） 議運じゃからええんじゃけど、1個だけ。

20日の赤磐市の複合型の介護福祉施設の選考委員会なんじゃけど、厚生委員会には報告しょんかもしれんけど、暑いのに皆行ってから、起工式まで行ったんじゃあ、どねえになりようるというのを、毎月してくれえとは言わんけど、今、進捗、こういう状態じゃとか、教えてもらいてえと思うたん。この間のとき、これ、内容に入るかもしれん、ちょっと入ったらあれじゃけど、僕が聞いたんじゃけど、予算がついとして、県からついとして、まだ決まってねえんじやと言うたん、あれ……。

決まってねえという話じゃったわな、委員長報告の中で。じゃけん、それは委員長に言う

よりも議長に言うんか何かわからんけど、進捗状況を教えてくれて、もう事業は動いて、何ぼ遅えというても、もう8月じゃけん。8月にまだ動きようらんというのは、これ、それやったら9月の補正で組みやあええんじゃねえんか、慌てんでも。極端な話、思うた。ちょっと進捗だけ。名前のことはどねえでも、名前の名称の選考委員会もええんじゃけど、そっちのことをまたお願いしてえと思うとんで。わかるときでええんで、厚生委員会に出ん間にしてくれえというんじゃねえんで、厚生委員長のほうで聞いたときでまたお願いしてえと思うとんで、どう進捗いきようんというのを。執行部でもどっちでもええんじゃけど。

○委員長（下山哲司君） 副市長、どういう扱いにしますか。

○副市長（倉迫 明君） 厚生常任委員会のほうに御報告をさせていただきます。それで、皆さんに知ってもらったほうがいいというような案件がございましたが、それはまた個別にでも報告をさせていただきます。

○委員（北川勝義君） じゃけん、それをしてくれえと言よんじゃがな。

○委員（原田素代君） 委員長。

○委員長（下山哲司君） 原田委員。

○委員（原田素代君） 厚生常任委員会が、スケジュールを見ていただいてわかるように、8月20日です。22日が全協になっておりますので、もし可能でしたら、22日に、別に、その他の報告でさせていただければと思いますが、いかがでしょうか。

○委員長（下山哲司君） 北川委員、よろしいですか、22日で。

○委員（北川勝義君） 別に、厚生委員会のほうで判断しよって、ぼっけえことがなかったら、進捗変わってなかったらええ、変わっとったら、してもらいてえと思よん。それだけです。

○委員長（下山哲司君） 今の件で、副市長。

○副市長（倉迫 明君） 的確な適時報告が必要だと思うので、厚生常任委員会には報告するし、それからそういう報告する、全員協議会とかそういう機会があれば、そういう機会を捉えて、報告はさせていただきます。

○委員長（下山哲司君） それでは、22日に……。

○委員（北川勝義君） 違う、ちょっと。

○委員長（下山哲司君） 北川委員。

○委員（北川勝義君） 22日って、何で言よんで。僕が言いたかったのは、車を買うというて予算づけしとる、何の車かわからんのにという。車、進捗しようたら、こういう車になつとりますよというのを説明していただきてえということを言ようだけの話じゃから、せにやあおえなんだからするけど、それはしてもらわにやあおえんと思うとん。今それだけちょっと思うたんで。

○委員長（下山哲司君） 普通の事業をやる内容とは少し違うんで、やっぱりそれを気を使っ

て、適時説明をするようにお願いいたします。

○副市長（倉迫 明君） 委員長。

○委員長（下山哲司君） 副市長。

○副市長（倉迫 明君） そのように努めてまいります。対応いたします。

○委員長（下山哲司君） そういうことでお願いいたします。

ほかにございませんか。

議長。

○議長（金谷文則君）
.
.

○委員長（下山哲司君） 日程だけです。

○議長（金谷文則君） ああ、日程だけか。済いません。ほんなら、また終わってからお聞きします。

○委員長（下山哲司君） そういうことでお願いいたします。

○議長（金谷文則君） じゃあ、削除してください。

○委員長（下山哲司君） はい。

他にございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（下山哲司君） なければ、続いて協議事項２番目、平成30年９月定例会の会期日程（案）について。

議会事務局長。

○議会事務局長（奥田吉男君） それでは、お手元の資料に基づきまして、８月、９月の議会スケジュール表の案をごらんいただきたいと思います。

９月定例会を８月30日に開会する日程で組ませていただいております。そのため、８月22日13時30分から議会運営委員会、引き続き14時30分から議会全員協議会の開催を予定しております。一般質問の通告の受け付けは、８月13日８時30分から受け付けを開始しまして、17日17時を締め切りといたしております。

９月定例会は、８月30日と31日が本会議で、議案の上程としております。

９月３日、４日、５日を一般質問とし、６日を予備日としております。

７日は本会議で質疑、委員会付託となります。

10日は予備日となります。

11日、12日は決算審査特別委員会となります。

各常任委員会は、13日に厚生常任委員会、14日に産業建設常任委員会、18日に総務文教常任委員会となりまして、19日を予備日といたします。

最終日を9月27日とする案といたしております。

なお、前回のときに、8月23日の岡山市議会議員の研修会を美作で予定をいたしておりますが、今回の7月の豪雨による被災等の条件から中止が決定されております。

御説明は以上です。

○委員長（下山哲司君） ありがとうございます。

ただいま説明がございました会期日程（案）について。

○委員（北川勝義君） ちょっと、質問。

○委員長（下山哲司君） 北川委員。

○委員（北川勝義君） 前と変わってねえんじやろう。

○委員長（下山哲司君） はい、変わってません。一般質問のところが……。

○委員（北川勝義君） そのときの一般質問が、時間的に原則でいうたら何人になるかわからんのじゃけど。何人じゃったかな、決めたのは。

○委員長（下山哲司君） 6人以下。

○委員（北川勝義君） 6人かな。六三、十八で、議長がしたとして、18人、6がマックスにしとんじやな。

○委員長（下山哲司君） はい。

○委員（北川勝義君） じゃから、決め方として、13人ぐれえになった場合には、前のほうをようけしてもろうとかなんだら、極端な話になったら、余り早過ぎるのもおえんけど、最終日には午前中に終わる場合でもいたし方ねえんじやねえかとちょっと今思うとんで。無理やり詰めて、6時や7時や、予定どおりには、そのことを委員長、執行部とよう、事務局ともよう、議長とも相談して、そこんとこだけちょっとお願いしてえと思えますんで。

○委員長（下山哲司君） この日……。

○委員（北川勝義君） ちょっと最終日が延びて、いや、最終日が、ようけ、数によって違うんじゃけど。出て、時間がいっぱいになるようなことになったらおえんから。じゃけ、議長せんけえ18ということはなかろう。なあ、最低限16とかというて言うたら、そりゃあすりゃあ、してみりゃあええんじやけど。前代未聞だが、してみりゃあええんじやけど。

○委員長（下山哲司君） できんことはねえ……。

○委員（北川勝義君） できんことはねえ、そんなことはわかっとなる。子供の話をしょうりゃあへん。副議長がするんでも、前代未聞のことが少ねえんじや。その日にちを入れたら、3日とつとるけん、時間的にはできると思うんじやけど、最初のときのほうにいつてもろうたほうが、例えば17人になったとするが。6、6、5とかしたほうがええということが言いたかったんで。

○委員長（下山哲司君） この3、4、5については、出そろった時点でここで協議いただくことになる……。

○委員（北川勝義君）　せえで、要らんことええか、ついでに。

○委員長（下山哲司君）　ええです。どうぞ。

○委員（北川勝義君）　10になった場合があろう。予備日じゃな。

○委員長（下山哲司君）　はい。

○委員（北川勝義君）　そうじゃろう。

○委員長（下山哲司君）　はい。じゃから……。

○委員（北川勝義君）　予備日になるんじゃろう。

○委員長（下山哲司君）　はい。

○委員（北川勝義君）　11になったとか12になったけん、4、4、4とかせんのもんじゃろうと
いうことを言ようるわけ。

○委員長（下山哲司君）　はい。

○委員（北川勝義君）　どんなん、そりゃあ。

○委員長（下山哲司君）　それは、予備日が2日になって。

○委員（北川勝義君）　ちゃう。じゃあから、違う違う、僕がそういうふうには。12人となっ
た場合に、4、4、4とはせんなということや。

○委員長（下山哲司君）　いや、あの……。

○委員（北川勝義君）　12といやあ、6、6といくんじゃろう。

○委員長（下山哲司君）　以内ですから、4、4、4で皆さんがやれえということであれば…
…。

○委員（北川勝義君）　いやいや、じゃあけん、それを聞きょんじゃが。

○委員長（下山哲司君）　問題ありません。それでも構いません。

○委員（北川勝義君）　いや。じゃあけん、あえて聞きょんじゃ。12人じゃったらな。13人や
ったら3日とらにやおえんけど、12人の場合だと、6、6いく場合があろうけん、予備日にな
るんか、それとも4、4、4といくんかと、こう聞いたん。そういう可能性もあり得るという
ことか。

○委員長（下山哲司君）　あり得るんです。議運で協議していただいて、日にちを割っていた
だくようになりますんで。

○委員（北川勝義君）　22日に出てくるから、22日にその予定をあれでできるということか。

○委員長（下山哲司君）　はい。

○委員（北川勝義君）　じゃあ、原則は6人というこっちゃな。委員長、6人……。

○委員長（下山哲司君）　以下ということになっとんじゃから。

○委員（北川勝義君）　以内な。

○委員長（下山哲司君）　はい、総合で。

○委員（北川勝義君）　わかりました。

○委員長（下山哲司君） その都度、御協議をいただくようになってます。

まあ、バランスを見ていただいてということで。

○委員（北川勝義君） ちょっと、もう1件。

○委員長（下山哲司君） 北川委員。

○委員（北川勝義君） 参考じゃけど、よそやこどうしょんじゃろうか。何か瀬戸内市か備前、どっちか、最後やこう2人か3人ぐれえで終わっとったろう。じゃけん、もう午前中で終わるようなのがあがるが、2人ぐれえで終わるの。どんなんじゃったかなと思うて。まあ、よそを参考にせんでもええんかもしれんけど、まあ、よろしいわ、それ。

○委員長（下山哲司君） まあ、やられる時間によっても違うし。

○委員（北川勝義君） わかりました、よろしいです。

○委員長（下山哲司君） 内容によっても違うしということで。

他にございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（下山哲司君） なければ、続いて協議事項3番目、その他に。

○委員（北川勝義君） ちょっといいですか。

○委員長（下山哲司君） はい。

○委員（北川勝義君） 皆さんのお手元へ……。

○委員長（下山哲司君） ちょっと待ってください。協議するのがあるんで。

○委員（北川勝義君） 空き家対策やこう、おめえ、うちがすることじゃなかろう。議運でする話じゃなかろうがな。そんなこと決めるんなら、全部、ここが決めにゃあおえんが。空き家対策の委員会の委員を決めるのに……。

○議会事務局長（奥田吉男君） 選出の仕方です。

○委員（北川勝義君） 選出についてになっとるがな、これ。仕方じゃねえがな。違うで、そりゃあ、おめえ。

○委員長（下山哲司君） 議長。

○議長（金谷文則君） そのその他のところで書いてありますように、赤磐市の空家等対策協議会委員の選出について皆さんにちょっと御報告をさせていただきたいと思います。さきの産建のほうで、同じような名前で空家対策の協議会というのができておまして、正式に30年6月に赤磐市の空家等の適切な管理の促進に関する条例というのが施行されまして、そこで新しく再度協議会というのを設置されましたので、そこで委員を選出しなきゃいけないということになっております。それまでの形では産建の所管ということで、産建の委員長のほうがその委員として任させていただいております。これにつきまして、また新たにその協議会ができましたので、委員を選任しなきゃいけないということが議会のほうに課せられておりますので、その段取りを……。

○委員（北川勝義君） それは違う。議運がすることになっとらん、なっとらん、なっとらん。

○議長（金谷文則君） この議運のほうへお話をしたいというふうに考えておりますので、よろしく願いをいたします。

以上でございます。

○委員長（下山哲司君） 続きまして……。

○委員（北川勝義君） なっとらんちや、議運じゃ。

○委員長（下山哲司君） ここで決めるんじゃねえで。

○委員（原田素代君） 報告。

○委員長（下山哲司君） 報告。

○委員（北川勝義君） 選出についてって書いとるが、これには。

○委員長（下山哲司君） うん。じゃから、するということだけです。あの……。

○委員（北川勝義君） いやなあ、ちょっと下山さん、ええかな。

○委員長（下山哲司君） 北川委員。

○委員（北川勝義君） 僕はなあ、何があっても、山陽団地の活性化やこうじゃったら、山陽から出とる福木さんか治徳さんか、そっちのほうからやってくれえと、山陽が詳しいからというて、僕は、まあ、そういう考えじゃ。これ出てえやこう言ようらへん、決して。出てえんじゃねえが、これもな、これ議運の中で諮る話じゃのうて、議運の中で諮る話じゃねえ言ようるわけじゃ。報告でこうさせてもろうたというんじゃったらええけど、報告じゃねえから。

○委員（原田素代君） 報告。

○委員（北川勝義君） 報告じゃねえよ。報告、誰がなったんなあ。

○委員長（下山哲司君） 違う違う。全然違うんじゃ。

○委員（北川勝義君） 産建がなるとかというて、なっとりゃへんがな、おめえ、そねえな。違わあ、やり方が。

○委員長（下山哲司君） じゃから、切りかわるというだけのあれで、あとはまた……。

○委員（北川勝義君） じゃあ、そりゃあ、切りかわるのはええ。切りかわるかどうか、わかりゃあへんが、そねんなことを。それ、前あって、名前があって、どうのこうの、6月から正式になったというような言い方をしようるが、そねえなことは、僕ら言よんのはわからん。これは議運じゃあから、議運の中でそういうことを諮る話じゃねえということを言いたかったわけ。そりゃあ、充て職がしとった、なったらそれでええがな。それを、今言よんのは、治徳が悪いからええとかという話ししょんじゃねえ。ええがなという話をしょんじゃけ、ここで諮るのをな、諮らんでもええんじゃねえかという話ししょんじゃ、こういうことが。

○委員長（下山哲司君） 議会運営として議会から選出されますという話で、ここでどうこうという話じゃ……。

○委員（北川勝義君） 議会から選出、わかつとるが、決まತ್ತとるのに。

○委員長（下山哲司君） じゃから、切りかわるから一応議長から報告をするんで。

○委員（北川勝義君） いや。ほんなら、新しいのを、下山さん、切りかわると言よんか。そんなことがあるもんか。今まで出とる委員会が今度は新しい委員会に切りかわりますよ。あるもんが、前のがのうなって、廃止になって、新しくでき上がっていくんじゃがな。

○委員長（下山哲司君） じゃから、今のは終わっとんじゃから、もう。

○委員（北川勝義君） いつ終わったん。

○委員長（下山哲司君） いや。それは、会が解散した時点でのうなತ್ತとる。そうじゃろう。
治徳委員。

○委員（治徳義明君） 構想ができ上がるまでの委員会は同じ名前であったんですけど、今回の……。

○委員（北川勝義君） 終わったんか。

○委員（治徳義明君） 今回は条例が制定されまして。

○委員（北川勝義君） 条例やこうどねえでもええ。

○委員（治徳義明君） 条例に基づいた委員会の話。

○委員（北川勝義君） 違う。そんな話ししょうらん。わけのわからんことを。

○委員長（下山哲司君） だから、前の分は職務として終わったんでしょう。その報告が協議会……。

○委員（北川勝義君） じゃあから、下山さんなあ、ちょっとええか。

○委員長（下山哲司君） 北川委員。

○委員（北川勝義君） 委員会が終わったら終わったでええんで、今度新しい委員会があったら、それで選出させてもらいますというんだったらええ。終わって、前しょうて、それ引き継いで今度はする、そねえな話やこうあるわけねえ。そんなことを言うたら議員が、おめえ、きょうが任期じゃってから、終わって、新しい議員になって、前を、いや、前からしょうて、その議員にならせてもらわにゃあおえんのじゃて、選挙落選するとできりゃあすまあが。

○委員長（下山哲司君） いや、そう言うたんじゃねんで、僕は。前の委員会は終わって、新しい委員会になったという、切りかわるという意味で言うたんです。

人間が同じ人間という意味じゃねんで。

○議長（金谷文則君） うん。それは言うてねえ。私も言うてねえ。

○委員長（下山哲司君） 北川委員。

○委員（北川勝義君） あのなあ、もう空き家対策やこう、本当、大事なことじゃから、これやるのは、山陽じゃ、何でも言うたら、山陽、ネオポリスばあじゃあという、ちゃあちゃあ言わずに、吉井の辺来たり、熊山来たり、赤坂来たり、びちっと見てやってくれにゃあおえんど。だてや酔狂で看板立って、選挙だけするんやったら、治徳さん、特に言よんで、これ。後

で削除せにゃ。いや、やっぱりな、きのう、僕は、ここのところ、おすわの会議があつて、納涼祭りの会があつた後に話を、若え者、七、八人おつて、もう草まみれになって、木を刈りよる。ありゃあもう、イノウエのヤッチャンのところが無人になつとるとこの話が出て、それもう今タカモトミツナリさんが出とるけん、あのおじいさんがおらんけん、なるんじゃというて、皆困つて、いつ倒れるかわからんけん、倒れたときには、市が面倒見てくれるんというけん、市はこういう空き家対策もできたから、そういう処置ができるようになりようんじゃという話はしたんじゃけど、やっぱり一遍ぐれえ現状を見に行つてくれにゃあおえん。関係ねえとこばあ見に行かずに、しゃんとしたところを見てもらわなんたら、これはまあ、治徳さんがなられるか誰かわからんけど、これは議運の委員長、僕はもう内容に入るんかもしれん、悪いけど、そこだけちょっとお願いしてえと思うとんで。

○委員長（下山哲司君） 今後の協議があるということで、よろしくお願いします。

続いて、もう1件。

副市長ですか。

○副市長（倉迫 明君） 委員長。

○委員長（下山哲司君） 副市長。

○副市長（倉迫 明君） 7月の豪雨による災害対応費につきまして御報告させていただきます。

災害復旧工事に当たりまして、急を要する設計委託等が必要なもの、また修繕などにつきまして、専決を行い、早急に対応させていただきたいと考えておりますので、よろしくお願いします。

○財務部長（藤原義昭君） 委員長。

○委員長（下山哲司君） 藤原部長。

○財務部長（藤原義昭君） 7月豪雨につきまして説明しますので、資料を配らせていただきたいと思います。

○副市長（倉迫 明君） 早急に対応したいので、専決をお願いして対応してまいりたいということでございます。

今お配りをいたしました資料に基づきまして、財務部長から説明をさせていただきます。

○財務部長（藤原義昭君） 委員長。

○委員長（下山哲司君） 財務部長。

○財務部長（藤原義昭君） 7月豪雨の被害に緊急に対応するため集計しておりますが、予備費充用では間に合わないため、早急に復旧支援を行うため、予備費充用専決補正、9月補正に対応させていただきたく、現時点での概算金額をお知らせしております。詳細につきましては9月定例議会等に報告、御説明させていただき、議員の皆さんにも通知させていただきますので、よろしくお願いいたします。

○委員長（下山哲司君）　ありがとうございました。

　ただいま説明がございました。

　何か委員さんから、よろしいですか。

　北川委員。

○委員（北川勝義君）　どこまで専決するのか。

○委員長（下山哲司君）　財務部長。

○財務部長（藤原義昭君）　専決補正につきましては、緊急を要するものとか、あとは設計委託が中心となると思います。

○委員（北川勝義君）　ちやうちやう。じゃあから、災害復旧の該当になるところをするんか、ならんところをするんか。なっとるところをしたら、今度はその後の金はどうなるんならというて聞きようんじゃがな。

　いや、わかりようらんか、言ようこと。例えば、査定を受けるのは、激甚になろうと、どこでしよう、査定するのは9月の査定とか10月の査定になろうがなということと言よう。じゃけ11月の査定やこうになりようたら間に合わんから、早う専決でやりてえということ、修繕も言よんじゃけど、修繕やってしもうたら、金額が決まらんのに困ろうがなということ、言いたかったわけ。決定が、国がねえのに。例えば、1,000万円の設計したら1,000万円出ました。国が査定したら800万円しか出ませんでした。そりゃあもう国ができていくんかという、そこを言いたかったわけ。いや、査定を受けん間に、100メートルじゃけん1億円ですというて言うて、査定を受けたら、災害復旧というたら原状復旧じゃから、今、後のこと、仮設を造成するんじゃねえんじゃから、原則的には。それが査定したら、赤磐市は、例えば10メートルいけると思ようたけど、査定したら、査定落ちで8メートルしかできなんだからということになったとき、金額が違ってくるが。例えば、1個のブロックを積み上げるんでも、コンクリするのでも、違ってきたときにどうなるんならと言うたん、査定の。

○副市長（倉迫　明君）　委員長。

○委員長（下山哲司君）　副市長。

○副市長（倉迫　明君）　とりあえず今緊急に対応したいというのは設計委託に伴うもの、修繕はもう小修繕だと思いますけど、予備費で対応できなかったもので、それで後でその査定等によって変わったものは9月の補正で、その復旧工事としては上げさせていただきます。財源更正はまたその都度起きてくる、金額もふえてくるというふうには思っております。

○委員（北川勝義君）　ちょっとええか、それ。

○委員長（下山哲司君）　北川委員。

○委員（北川勝義君）　農業施設であろうと農地であろうと河川であろうと、要するにそういう設計費を専決してえということが原則じゃな。

○副市長（倉迫　明君）　はい。

○委員（北川勝義君）　せえで、査定で30万円以下になるか50万円になるかわからん、100万円になるかわからんけど、それについて30万円以下とか50万円というのは考えずに、応急復旧していくということじゃな。

○副市長（倉迫　明君）　はい。

○委員（北川勝義君）　例えば言うたら、県道じゃけ違うけど、山口線やこ今ってから、また落ちるのを待ちょうるような感じにしとるが。

○副市長（倉迫　明君）　はい。

○委員（北川勝義君）　あれが市道じゃったら、とりあえず災害復旧の暫定の通れるようにするという、そういうお金じゃあなあ。

○副市長（倉迫　明君）　はい。

○委員（北川勝義君）　査定は、また別じゃあな。

○副市長（倉迫　明君）　はい。

○委員（北川勝義君）　ということじゃな。

○副市長（倉迫　明君）　委員長。

○委員長（下山哲司君）　副市長。

○副市長（倉迫　明君）　とりあえずの設計委託等で必要なもので、その査定等に伴って、確定次第というか、補正予算のほうで財源はまた更正して……。

○委員（北川勝義君）　委員長。

○委員長（下山哲司君）　北川委員。

○委員（北川勝義君）　設計は設計すりゃあええんじゃ。設計は概略設計、本設計であろうと設計していきゃあええんじゃけど、設計じゃのうて、大きな設計……、設計はすりゃあええんじゃけど、設計の後に、今度はやったときに、絶対査定があるから、言うとおりに100%くれりゃあへんから、査定落ちがあって、査定があって、災害になろうと特別になろうと、あつたときに、それについての、例えばこの10メートル直さにゃおえんのじゃけど、とりあえず片車線だけ直しゃあ応急できるという場合があるが。例えば、土のうを積むだけで仮舗装だけしたらできる。仮復旧をするだけの経費は、この修繕という意味のことじゃああとということを言よるわけ。新しい事業をする、新しいというのが、正式にコンクリート、擁壁を打ったりしてやるのはまた後でやるということすなということと言よん。

○委員長（下山哲司君）　副市長。

○副市長（倉迫　明君）　今北川委員が言われたとおりで、とりあえずの設計で応急的なものだけで、後で残りの工事全体についてはそれは補正予算のほうで、はい、対応させていただきます。

○委員長（下山哲司君）　北川委員。

○委員（北川勝義君）　こんなことを言うたら僕はまた言われるが、災害援護資金貸付金、こ

これは単市かな、県から借ってきてするんか。単市でやるんか、県から借ってくるんか、国から、いや、今何を言わんとしようというたら、吉井だけじゃねえが、仮にアバウトで100件貸付金があって、100万円で7年償還で、無利子じゃな、14年無利子で借るというてやっとな。今現状でも、半分以上、3分の1は残っておりますが。払わずに裁判したりして。それ災害復旧じゃけえ、そりゃあ、あのときも災害復旧じゃが、水害。今言うて、どこまで出すというので、できたら、そのときもしとったけん、連帯保証人じゃねえけど、ぴしっと保証人ぐれえとってやってもらわなんだら、これが返還していくときに、5年後ぐれえになってから、また滞納しとるがなというようなことにならんように、大変失礼なことばあ言よんじゃけど、ちょっとそこら、どう考えられとんかなと思うて。それ、どのぐれえ災害援護資金が出るんか、どのぐれえから出るんかなという。

○委員長（下山哲司君） 財務部長。

○財務部長（藤原義昭君） ちょっとまだ数値的には再度調整中であるんですが、大方のところとしては約1,000万円ぐらいを考えております。

○委員（北川勝義君） 1件に1,000万円。

○財務部長（藤原義昭君） いや、全体です。

○委員（北川勝義君） 100万円ほどのもんじゃろ。

○財務部長（藤原義昭君） いや……。

○委員長（下山哲司君） 7件じゃったろう。

○財務部長（藤原義昭君） 全体的には、最高額とかいろいろあったと思いますんで、そちらのほうまで本日資料を持ってないので、申しわけございません、ちょっと答えられません。

○委員長（下山哲司君） よろしいか。

○委員（北川勝義君） はい。

○委員長（下山哲司君） 北川委員。

○委員（北川勝義君） もうこのくらいでええんじゃけど、専決するんじゃけん、早目に実施してやってほしいんじゃ。遅うなるより早えほうがええんじゃけど。逆に言うたら、今回、どことは言わんけど、見捨てられとったんじゃろうかというような人も出てくるけん、赤磐へ。変な話じゃねんで。ぜひ、早急にやっちゃってください。

○財務部長（藤原義昭君） 委員長。

○委員長（下山哲司君） 財務部長。

○財務部長（藤原義昭君） あすにでも行いたいのですが、準備ができ次第、早急に行いたいと思っております。ありがとうございます。

○委員長（下山哲司君） よろしいか。

○委員（北川勝義君） ちょっと、もう1個。

○委員長（下山哲司君） 北川委員。

○委員（北川勝義君） 9月の補正なんじゃけど、これ、産建だけやこう任せとけれんと思うてな。ほんまに冗談じゃのうて。これ、議運の委員長、議運が行けえとかというんじゃねんじゃけど、全協でもええんじゃけど、農業用施設でも、それは本当、もうむちゃくちゃいっとる農地からあるんで、これはもう参考にしてというんじゃねんけど、余り激しいところがある。全協からでもええんじゃけど、議運はもちろんじゃけん、議運から言うてくれりゃあええんじゃが、一遍、現地をこういうところは見とってもらいてえというのを、ため池とかあったら見させてもらおうたほうがええんじゃねえかなと。こりゃあ考え方の要望というたらおかしいけど、そういうことです。

○委員長（下山哲司君） 今北川委員のお話は、議長が取りまとめをして、災害の現地視察ですから、議会全体でやっていただくのが筋だと思いますが、どうでしょうか。

○委員（北川勝義君） ええです。

○委員長（下山哲司君） そういう方向で、議長、お考えを。

今言うたように、議会として災害の全体の視察というのは、今北川委員が言われようた…。

○議長（金谷文則君） 委員長。

○委員長（下山哲司君） 議長。

○議長（金谷文則君） まとまった時点で、甚だ激しいものとか、今後きちっとみんなで対応しなきゃいけないものというふうに考えたものについては、皆さんにまたお話を諮りをしたと思います。

○委員（北川勝義君） もう1点。

○委員長（下山哲司君） 北川委員。

○委員（北川勝義君） 僕が何でこんなことを言ようというたら、この大規模開発した太陽光とか水が出たり何やかんや出とんで、やっぱりそこらが、余水吐けが、まあ、まあ、悪いけど、後からできて、めげたとか決壊したというようなことであるんじゃったら、これ、はっきり言うて、太陽光って産建が担当じゃろうけど、池が決壊するというようなことというのは、そりゃ、100年に一遍の未曾有の、それ、じゃけん開発してなかったらいかんと思うんじゃ。じゃけ、やっぱりそこらはちょっと業者が対応が悪いと思うてな。あえて、僕はちょっと。せえで、そういうところを見たかったというんと、それからどっか、桃とかでえれえいっとったところがある、これから収穫していくところ。赤坂か、ありゃあ。

山陽じゃったかな。下仁保か、上仁保か、何かいっとった。そこらは、やっぱりこれからの赤磐の、皆、ええ格好、一般質問じゃあ桃は赤磐の特産で日本遺産にもなったんじゃけんと言うんじゃったら、本当そういうところを早うしちらにやいけんのんじゃねえかな。物見遊山で行こうという話じゃねんで。せえで、そこらのこと、ちょっとあったんで、そういうことを言いたかっただけです。

○委員長（下山哲司君） 他にございますか。

治徳委員。

○委員（治徳義明君） 今、7月豪雨の災害対応費の御報告があったんですけれども、12号台風の影響等はどんな状況だったのか、災害の場所が、箇所がどんな状況だったのか、簡単に、わかれば教えていただければ。さっき議長さんのほうから挨拶の中で、何もなかったみたいなお話がありましたけども、12号台風はどういうふうな形だったのか。この災害対応費に影響を与えるような状況もあったのかどうか、ちょっと教えていただきたいんですが。

○副市長（倉迫 明君） 委員長。

○委員長（下山哲司君） 副市長。簡単に。

○副市長（倉迫 明君） 12号台風については、被害はありませんでした。前回のその豪雨に伴う箇所についても、特に状況は変わってないというふうに思っております。

○委員（治徳義明君） 済いません。災害箇所に対して影響はなかったと理解しとってよろしいんですね。

○委員長（下山哲司君） 副市長。

○副市長（倉迫 明君） 全体を通じて、なかったというふうな確認をしております。

○委員長（下山哲司君） 佐藤委員。

○委員（佐藤 武君） ちょっともとに戻るんですけれども、豪雨による災害対応ということで、予備費、専決補正ということで出されとんですけれども、専決、予備費については当然その議案として、専決案件として9月に提出されるということでいいんですね。

○委員長（下山哲司君） 副市長。

○副市長（倉迫 明君） 9月議会のほうで報告をさせていただきます。

○委員長（下山哲司君） よろしいか。

佐藤委員。

○委員（佐藤 武君） 日にちがないんでちょっと心配したんですけど、出されるということで、大変だと思いますが、よろしくお願いします。

○委員長（下山哲司君） 副市長。

○副市長（倉迫 明君） 時間はありませんけども、大至急にやって間に合うようにいたします。ありがとうございます。

○委員長（下山哲司君） 他にございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（下山哲司君） なければ、議長ですか。

続いて、議長。

○議長（金谷文則君） 続いて御報告をさせていただきます。

先ほどの総務の委員会のときに委員長のほうからも申し出がありまして、庁舎とか給食関係

について、全協の中で市当局のほうから説明をしてもらうようにというふうに連絡がございました。市長とも相談をしまして、今度の全協で皆さんのほうへ御説明をさせてもらいたいということでございますので、その1つ、報告をさせていただきます。

それからもう1つは、今回、この災害は特に議会と議員としてどういうふうな対応が、執行部のほうは対策委員会の中があって、その中でやっとなんですが、議員としてできることがどういふことがあるのか。いろいろ制約もある中で、もう一遍考えなきゃいけないので、また全協か何かの席に皆さんにちょっとお諮りをして、議員としてはどういうことを対応したらいいかという議論をしていただきたいなというふうに思っております。

それからもう1つは、前回の議会議員の研修会が議会検討委員会の発案の中で、第1回目できました。皆さん出席していただきまして、いろいろ勉強してきましたので、次の2回目ということもありますので、いろいろまた考えていきたいと思いますので、また御協力のほどよろしくお願いをしたいと思います。

以上でございます。

○委員長（下山哲司君） ありがとうございます。

今議長の件については質問はよろしいですか。

○委員（原田素代君） 1つ。

○委員長（下山哲司君） 原田委員。

○委員（原田素代君） 災害時の議会对応については、具体的にはどのようなスケジュールで。

○委員長（下山哲司君） 議長。

○議長（金谷文則君） 一応いろんな地域で既に議員がどのようなことでかかわり合って、どういうふうに議会の中で組織づくりをしたとか、そういうようなことがいろいろあるようでございます。今その資料集めを事務局のほうにしてもらうように話をしておりますので、ある程度それがまとまった時点で皆さんのほうへお諮りをしたいということで、まだ日にちははっきりしておりません。

○委員（原田素代君） わかりました。

○委員長（下山哲司君） 他にございませんか。

なければ、他に執行部のほうはありませんか。

○総務部長（前田正之君） ありません。

○委員長（下山哲司君） 議員さんから。

○委員（北川勝義君） ある。

○委員長（下山哲司君） 北川委員。

○委員（北川勝義君） きノウ、実はおすわ祭りと納涼祭りの会議がありまして、今、皆さんに配布しているのを出しております。通知のほうは何か先週の月曜に各議員のほうへ行っとなる

ということなんで、とりあえず来る来んじゃのうて、僕は、これもあれなんで、前市長も言うてえてくれえと言われたんで、議員さんも極力参加していただきたいということなんで。それから、また議長とかああいのような交際費ももろうとりますけど、あとはいただいておりませんのんで、議員さんにも、手ぶらというたらおかしいんじゃけど、そういうことをしてもらはんじゃありませんのんで、よろしゅうお願いしてえと思います。

○委員長（下山哲司君） 他にございませんか。

原田委員。

○委員（原田素代君） 言うのがいいことなのか悪いことなのかちゅうちょするんですが、熊山の花火大会と赤磐市の惣分地区のお祭りが長年重なってきて、たしか昨年ですか、やっぱりできるだけずらしていただきたいという惣分地区の要望があって変えたと思うんですけど、今回また重なってしまっています。

市としては、特段地域のお祭りに関して市の行事を優先させたいということで、今後についても、重なってしまえばもうそれだけのことで、重ならなかったらラッキーと、そのレベルの話になってらっしゃるんでしょうか。ちょっと確認をしたいんですが。

○委員長（下山哲司君） 副市長。

○副市長（倉迫 明君） 赤磐市の花火大会、実行委員会で決定したということで、惣分地区との調整という点につきましては私が今承知してないことなので、申しわけありません。あの……。

○委員（北川勝義君） ちょっと済いません。ちょっと知っとることがあるけん。ええか。

○委員長（下山哲司君） 北川委員。

○委員（北川勝義君） 原田さんが言ようのもわかるんじゃけど。これなあ、前も松田さんが言うたり、いろいろな人が言よって、それで物すご気にして、日にちを決めとったら、その日に合わさんということで、桜が丘西か、西連合会は、じゃけんそれに合わさんように日にちをこしらえていくようにせられたわけじゃ。今言う、じゃから地元であるこっちが、地元もそれに合わすかどっちかの話じゃったんで、それはいたし方がねえんじゃねえかなと思うた。惣分より桜が丘のを重要視しとんじゃろうと思うてな。単純な話じゃ。せえで思うたんじゃけど、それ、小めえか大きいんじゃねえんじゃけど、ただ言よんのは、実行委員会で決めて、花火を決めた。今度は、その後にそれにかぶらんように決めてほしいというのを早う決定を出してほしかったというのが、今後のは、例えば言うたら、5月なら5月でもう花火はこうじゃ、赤磐市の3大イベントか4大イベントじゃから何月何日ですよというのを出してもらうとたらそれに合わせれるん、かえってやるほうが。じゃから、おすわ祭りとか納涼祭りというたら、政教分離もあるんじゃけど、納涼祭りのときには最終の25、6ぐれえのときがおすわをやるということに、納涼祭りもやると決めとるから、それにダブらんようになるということも1個じゃねえかなと思うた。それで、そこは僕は原田さんと同じ考えもあるんじゃけど、また違

うんもあるけど。ちょっともう1個聞きてえんじゃけど、岡山市の花火はボランティアがおえんからというて、花火を中止したん。それ、どこも、今きょうも局長に言うたら、僕はもうどうしても、これ、大儀なけど行かにゃあおえんと思うて、議員じゃけん、おえにゃあ議員やめときゃ行かにゃあええんじゃけど、22日も第50回の県の市議会研修会に行かにゃあおえんと、美作が中止になった。こういうこと、美作市は、それからすぐ「のど自慢」も中止になったし、やったんじゃけど、ごんごまつりも縮小してやるとか全部なる。赤磐市だけ花火を僕はやると言って、早う総務委員会のときかな、あのとき、下山さん、言われたんで、ちょっと僕は、これ参考で、あのとき言おうと思ったけど、あえて言わない。きょう言わせてもろうたら、日程じゃから、あえて言やあ、もうやるというのに逆らう話じゃねんじゃけど、前、下山さん、平成10年のときに水害があった。未曾有の水害があったときには、吉井町は全部のイベントを中止した。三大祭り。ワイン、皆全部一応、城山公園まつりもやめようということで1年間自重しようということでやったんがあったんで、そういうこともあるんか、やるなということとはねえ、明るいニュースじゃけん、ええかもしれんのじゃけど、どこまでやられるんかなと今ちょっと心配しようて、余り市長がおらんのに言うんじゃねえけど、僕はするんじやろうか、せんのじやろうかと思うたら、今さらもう10日ほどじゃけえ、今からやめるのはおえんけど、ちょっと慎重な意見というか、聞いたかったなあと思う。どうしてそれも簡単にやる、このけえじゃけえ、やると言うたんかという。はっきり言うて、花火やこうせんほうがええのにとこういうて言うてきた人もおられたんじゃ。うちは被災遭うとんのに、そっちのほうへという、あったから、ちょっとまあ、自重も一つの方法かなと思う。これ、こんなこと言うたらおえんけど、もうこの辺がいつてなかったけえ、ええと言うたらおえんけど、もう平島みたいなことになっとったら花火どころの話じゃねんじゃねえかと思うてな。それ決めたんが……。

○委員長（下山哲司君） 私もそう思います。

○委員（北川勝義君） ちょっとそれが、どういう気持ちで決められたんか、市長おられんけど、執行部がわかりゃあ、実行委員会がどうしても強い、議長にも大抵相談、相談というたらおかしいけど、ああ、ねえんか。ちょっとこの、ありやあどういふ気持ちがあったんかなと思うて。子供じゃとかほかのことに犠牲しちやってくれ、子供が元気づくけんやりてえんじやというんもありゃあええんじゃけど、ちょっと災害復旧のも今度は早う貸付金も援護資金もすると言ようけん、何ぼか納得しとんじゃけど、ちょっと教えてください。その背景が。わかる範囲で結構。

○委員長（下山哲司君） 一言つけ加えさせてください。

私もそういうほう関心持ってテレビをずっと見ようたんですが、災害指定になった市町村についてはイベントを縮小、中止が大々的に皆発表されております。その辺はやっぱ、どういふことでやったんか、どうしても強行してやるんか、その辺はきちっと答弁をしていただきたいと私も思いますので。

議長。

○議長（金谷文則君） 実は私も産建のときに言おうかなと思っと思ったんですが、その前に、この災害があったときにすぐ花火大会を考えにやいかんのんじゃないかという話をしました。そしたら、あれこれしょううちにすぐこの間の総務の委員会の中でやるということで言われたので、やるというて決められたやつを我々がどうのこうの言えないので、そうなんです、千駄地区の水害もあるし、それから特に熊山地区は浸水したところもあったりして、そこら辺のことを配慮されて、よくよく考えてやられないと住民の感情的なこともあるし、よく考えてくださいというふうに話をしたということだけはつけ加えさせていただきたいと思います。

○委員長（下山哲司君） 北川委員。

○委員（北川勝義君） 7月19日にやって確認をしたら、いつかなというて、やるんかやらんのか、いつならと言うたら、11日やというて言われたんで、それで11日やられることは、そのとき、産建の観光のほうじゃからこっちじゃねえから、ああ、そうか、日程で聞いて、やるんかなというのはあえて聞かせてもらったら、やるというて言われたんで、それ、議長もおられたわな。やると言われたんで、あえて、せえでそのときにも言おうと思うたん、吉井のときにはこういうことを全部中止したり、せえから下山さんがさっき言うた、今災害指定が出たところは大概やめようたんじゃけど、子供が喜ぶとか新しい意味で楽しみでやってくれるのはかえってええんかもしれん。よそは、また今度はだんだん縮小してきたけえ、ちょっと。それともう1個が、特に今千駄の話を、千駄だけじゃのうて、3人に言われたんじゃけど、うちらあ、それどころじゃねえわ、でえれえことになつとんのに見捨ててするんかと。そういうような、余暇がええか悪いかというのを言われたんじゃけど、まあ、僕は、市民も1年に一遍のことじゃけん頑張ろうというんで、なるべく少なかったり、決められても僕らが、実行委員会やこうじゃからと言うてちょっと逃げたんじゃ。と思うて、ここで災害資金も出されるから、何ぼかええと思うんじゃけど。僕は熊山じゃねえけん、吉井が、このけえじゃったら吉井も言わんかもしれん、もっと激しかったらな、もうやめてくれえという話になるんじゃねえかなとちょっと思うて。と今思うたんが、そういう気持ちがちょっとあったんで。

○委員長（下山哲司君） 今、皆さん言われるように、災害指定を受けるとことというのは自重しょうられると。

○委員（北川勝義君） そうそう。いや、せえがな、もうついでに言うときやあ、要らんこと言うけど、この議運のときに言うたが、前回のときに。どうすらあというて言うたときに。寄附するかという。ああ、議運じゃねえ。失礼。役員会のとき、議長が……。

○議長（金谷文則君） 代表者。

○委員（北川勝義君） 代表者。議長が災害するかと言うけん、おめえ、何しに特別になったとかどこがするんな、災害指定になつとんのにと僕要らんことを言うて、和気や備前がしとるというのは和気や備前はそこまで指定になってなかった、激しくなっていたからやらなん

だということじゃから、今回はしたとこが何かしてくれえ、頑張りましょうとか出しにきいかなあということで、皆さんの意見では、してあげてえけど、自分とこもなっとんじゃからやるまあということに決まりましたわな。じゃけん、そのときに言おうと思やあ、花火も決まったけん、どうも言いにくいじゃけど、本当は今さら経過たってできまあけど、自重すべきじゃったかなという気持ちがちょっとあった。せえで、あえて委員長も言われようし、議長も言われる。まあ、議長には相談が何ぽかあって、両輪じゃけえいきょうと思うとるから、ちょっと今議長に言うたん、ちょっと考え方が、やめえとかそういう意味、誤解のねえように。せえから、冒頭に言うた、何件か相談した人が、私ら見捨てられとるというような、そういう意味のことを言うて、花火がおえんとか言うたのも、話の中で、花火やこうするよりはというて、こういう話が出たんで、決して悪口を言よんじゃねえんです。その方は、花火はちいと元気づけられるというのは言うてくれとんで、ちょっとそこは誤解のねえように。それ、ちょっと教えてください。

○委員長（下山哲司君） 1つ、ちょっとつけ加えるんですけど、土曜日に柵原がやられたのをちょっと視察がてら見に行ったんですが、やっぱり行政が全くかかわらずにもう地域の有志だけでやっとなれるんと、赤磐市みたいに行政が丸抱えみたいな格好で、看板だけ書きかえたような格好のやつをやられるんとは世間の見方が違うと思うんですよ。じゃから、やっぱりその辺が行政が主体でやりようるもんが、災害があって指定されたところでイベントをやると、娯楽だけのイベントですから、花火といやあ。そういうのが考えられんということはちょっと情けないなというのを踏まえて答弁お願いします。

○委員（佐藤 武君） 委員長。いいですか、ちょっと。

○委員長（下山哲司君） 佐藤委員。

○委員（佐藤 武君） 先日、産業建設委員会で被害があった場所、何カ所か視察をさせていただく中で、千駄地区のその近くの床下、床上浸水の家屋が被害があったというようなお話も聞く中で、目の前で花火大会をしますよねと、そのあたりは大丈夫なんですかと。まあ、あくまでその視察の中での話を聞いたんですけども、当然その被害を受けた被害者の方にはそういうお話もして、元気が出るようなことも必要じゃなということで今回実施するんだというような話も私は聞いたんですけども。

○委員（北川勝義君） いつの話ならというん。

○委員（佐藤 武君） 27日の視察のとき。

○委員（北川勝義君） 27日じゃろうが。何を言わんとしょん。

○委員（佐藤 武君） え。

○委員（北川勝義君） ちょっとおえん。ちょっと下山さん。

○委員（佐藤 武君） いや、視察のときにそういう話があったから、それを被害者の方にも話はしてるということは……。

○委員（北川勝義君） 19日に、7月19日にもう、7月27日、28日に僕がやっとなったら言やあへん。19日以前に産業建設がやって、やっとなじったらええけど、僕は19日に総務で、総務じゃから産建のことは出しゃばるんじゃねえけど、僕はそういう意味もあって、ことしは花火はやるんですかと確認したら、やりますというて11日に言われたから。

○委員（佐藤 武君） いや、私……。

○委員（北川勝義君） へえで、あなたらは27日に行かれてやりようすることで、僕はその間も聞いとるから、よそはやめて、これは一般常識で、激甚が指定されたり、災害復旧になってやったときには、はっきり言ったら、もうやりませんわ。じゃけど、岡山市は桃太郎まつりはするけど花火はやらないと、花火のほうが簡単な、誘導のボランティアをつけれんというて、そりゃあもう、そういう、やり方しとる。今言うた、僕はこれは納涼祭りのこともきのうもちょっとその災害の、吉井は少のうてえかったという話が出た。これでも、実行委員会とか、両区が実行委員になってという、おすわ祭り実行委員会、すさい納涼祭り実行委員会をつくってやる。行政には、年間十何万円助成金はもらようけど、はっきり行政に世話になってねえわけ。早え話が、今言よんの。まあ、ええんじゃけど、やりやあええんじゃけどな。ああ、ちょっとええ。ちょっとちょっと、ええ。ちょっと、まあ、ええ、ええ。

○委員長（下山哲司君） 済いません、時間が、ちょっと鐘が鳴りましたから、よろしく願います。

○委員（北川勝義君） 僕の言いたかったのは、やりやあ、やって、中には明りいのを見てえという人もおられるけん、ええんじゃねえかというて、いろいろイベントも頑張っとる者もおるから、そういう励みになるからええと思よんじゃけど、それを決めたんが、今言うのは、僕は19日のときにそう聞いて、ことしはやらんのだんじやろう、どうなん、僕はやるべきじゃねえなと僕は思うて、やるかやらんかというのがあって、19日に聞いたら、やりますというて言うたから、ああ、そうかなという話、それ以上のことをもう産建じゃねえから聞かなんだわけ。せえで、これが20日とか18日に行っとして、産建しとして、そのような意見を聞いとるんじやったら、もう僕はようわかるん。そうじゃのうて、27日じゃあ言われるから、27日に聞いてえかったと言うけど、これなあ、たまたま人が死んでねえから、人1人でも死んどったりしたら祭りどころの話じゃありやあへんよ。冗談話じゃのうて、これも、はっきり危機感がこれもうええ意味のことはええんじゃ、僕が言うたのは危機感がねえんじゃ。部長がやっぱりしゃんとしてねえけん、危機感がねえんじゃ。はっきり言って、もうほんま。

○委員長（下山哲司君） 佐藤委員。

○委員（佐藤 武君） 27日に行ったのは、あくまでその現場を視察して、そういう配慮はされてるんですかということで私も委員として行ったんで、それでそういう配慮はしてるということをお願いただけなんです。

○委員（北川勝義君） 下山さん、そういなこと言うたらな、災害遭うた者やほかの者がおろ

う、親戚の者。もう、嫌なというて言よんじゃから、そりゃあ、それが本当の声じゃがな。そんなこと、おめえ、それが19日より、言うより早うてというのは18日とか言うとなやったら、ああ、そうかという。27日というたら、もうはつきり言って1週間後じゃからな。と今そう思うただけで、じゃけんもう、余り、佐藤さん、ぼっけえかばうように言われな。かばう必要、かばうような感じ、かばうような話ばあ、僕も執行部めいじゃろうと言ようらへん、ただ、花火をするのにはいささか考えにゃあいけんのんじゃねえかというのを、これが提案がなけにゃあおえんというて、執行部がじゃけん、せえで回答をもらいてえというて言いたかったん。

○委員（佐藤 武君） 委員長。

○委員長（下山哲司君） 佐藤委員。

○委員（佐藤 武君） かばうとかそういうことじゃなしに、委員会として視察に行つて、委員として、そういう……。

そういう問題点は指摘させてもらいましたということと言っただけです。

○委員長（下山哲司君） その程度でとどめてください。

副市長、今、これだけの御意見があるんですから、市長、きょう御欠席なんで、こういうお話があったということはお伝えください。

副市長。

○副市長（倉迫 明君） 被災に遭われたところで、イベント、花火も含めて、中止された箇所がたくさんあるということは承知をしております。それで、被災があった後に実行委員会においてどうするかというのは各関係団体、区長さんなんかも含めて、それぞれのところがどうしようかということで、大分検討をされたというふうに聞いております。それで、中止するかしないかということですけども、それはもう被災された人にとっては、それは、ちょっと気になる話かとは思いますが、地域がそれによって、今の被災状況だとしたら、地域が元気になるとか活性化にもなるというようなことで、実行委員会の中で十分に協議をされて決定したということでございますので、御理解いただきたいと思います。

○委員長（下山哲司君） ありがとうございます。

一言だけちょっと言わせてほしいんですけど、この前も言うたんですが、執行部は執行部なりにきちっと、こういうふうに進めていくんじゃ、判断の指導、地区のことはわかってても全体のことがわからん人が集まった中で言うた意見というのは、それはきちっと赤磐市のかじ取りの意見じゃないんで、個々の意見なんで、それを取りまとめて判断するのが行政、執行部なんですから、やっぱりそういう面の物の考え方が少し足りないんじゃないんかと。これから災害で補助金をしっかりもらわにゃいけんところが、何にもせずに花火をどんばちやってえて、補助金くれえという話にはならんんじゃないですかという物の考え方を僕は伝えたつもりなんですけど、まあ、そういうことなんですよ。

○委員（北川勝義君） ちょっと、下山さん。

○委員長（下山哲司君） 北川委員。

○委員（北川勝義君） 絡みじゃけど、最初言ったときに、11日のときには産建の問題じゃあから口挟む、水害の絡みからやりようたけん、挟まんつもりでおったんじゃけど、今逆に言うたら、実行委員会がやっとなんじゃけん、実行委員会を尊重せにゃあおえんのんじゃけど、せえから産建で視察に行つて、こうじゃったというのを尊重せんと、僕も聞いとる、いろいろよし悪しがある。じゃあけど、災害復旧が適用とか激甚になったとこやこうは、やっぱりある程度やめとるといふのが普通なんじゃとちょっと言いたかった。地域の、小めえ地域のやるのは別として、これが吉井じゃったら、今言うた納涼祭りやこう、もう実行委員会で本当に純粋に実行委員会がしょうるわけ。花火は純粋じゃねえとこがあるが、じゃけんいろいろなことがある。せえで、今度は場所が、あれが、仮に変なこと、吉井がいつとって、熊山でしょんのは、これちょっと余り言わんのんじゃ。熊山が割にいつとって、熊山でやるというたら何かイメージ的に物すご、こう、というんがあったから、ちょっとそこのとこを言いたかっただけで、それは市長というより実行委員会の中でいろいろ話して、実行委員に任せときゃええんじゃけど、ぜひやりましようと言うて、市としてのそのとき対応として、委員長が言われた話じゃねえけど、議長も相談しとると思うたから言うた。言い方が、こういう特別になったんじゃから、今回は自重してとか縮小してとかというのが一つあってもえかったんかなという、この方針を決めてほしかったというのを、決して今やりよんのを反対しようるけど、これも、僕はあるとき思うたん、水害も来て、今度は大分被害もあつたけど、悪いイメージばあじゃねえ、ええイメージもええなあと思う。ちょっと、まあ、子供やこうは喜ぶから、ちょっと、まあ、思うたんじゃけど、そこらのところ、ちょっと今思っただけです。

○委員（原田素代君） 委員長。

○委員長（下山哲司君） 原田委員。

○委員（原田素代君） 最初の発言からちょっと趣旨がずれて、大事な議論ができたと思うんですけど、もう1つだけ確認をしますが、赤磐市の地域でやってる事業は一銭もお金をもらわずに二十何年間続けてるんですね。本当に小さな集落が二十何年間、花火大会を続けるっていうことに対して、やっぱり市は市民協働でまちづくりをするとうったてを立てていながら、お金をくれとは彼らは言わないわけですよ。頑張つてやってますよ。だけど、あえてぶつけてくことはないだろうっていう話ですから、その話はもうさんざんしてるはずなんです。昨年、そういう配慮があつたと思ったら、今回またこういうことなので、やっぱり市として、例えば何らかの、例えば共催とかつけてあげて、市としても協力してますよと、熊山も実行委員会でやってますけど、惣分は二十何年続けてきた、その実績に敬意を表して、市としても協力しますよっていう、何らかの見える化するべきだろうと私は思ってるんです。今回、またぶつかったので、その配慮ってどこにあるんかいといって、来年以降どうするつもりなのっていうことを聞きたかったので、そのことについて、市としての考え方と、また実行委員会の判断とある

でしょうけれど、市としての見解はきちっと説明できるように、副市長のほうもよく報告をお聞きになっていただきたいと、それはお願いをしておきます。

○議長（金谷文則君） 今の、ちょっとだけ済いません。

○委員長（下山哲司君） 議長。

○議長（金谷文則君） 今、原田委員のほうからあったんですけど、花火大会の日は山の日にするということで、ここの議運でも、それから皆さん報告があつて、それで日にちは、だから1年前から決めてあったと思うんです。だから、今回、原田委員の趣旨はよくわかるんですけど、そもそもの日にちの決定については執行部は1年も前から、その前からも話をしとられるので、そこだけはちょっと理解されたほうがいいかなと思います。

○委員（原田素代君） 委員長。

○委員長（下山哲司君） 原田委員。

○委員（原田素代君） まあ、そういう執行部側の御都合があつた上でですけど、要するに当事者との話し合いができてない部分は大きいのではないかなと思います。一応そこはもう一度お願いします。

○委員長（下山哲司君） この件は、その程度にとどめていただきます。

他にございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（下山哲司君） ないようでしたら、私のほうから1件、ちょっと報告させていただきます。

現在、第5回議会報告会の開催に向けて、議会班長会を開き、準備を進めているところでございます。今度の全協には御報告ができるかと思いますが、いろいろ準備、皆さんの御意見をいただいたものをもとにして協議をさせていただいておりますので、その折はよろしく願いいたしたいと思います。

○委員（北川勝義君） 下山さん。

○委員長（下山哲司君） 北川委員。

○委員（北川勝義君） 治徳さんが今回言うと思うたら言わなくて、あんたが言うたんじゃけど、ええんじゃけど、委員長、悪いけどな、その班編成したときも自分のポジションの与えられたところはぴちっと答えれるようにして、せえから進行する者がぴちっとやってくださいよ。答えれんから困るけん答えた、そういうのはおえんでというて、もう次、僕は来年行かんぞと言うたんじゃ。あほらしい。わけのわからんことを、おめえ、すし屋へ来てから、焼き肉出せと言よんと同じじゃ。焼き肉も出せ、うどんも出せというて、すし屋へ来ずに焼き肉屋へ行けえというて言よんのに、あれをしてくれ、これをしてくれというて、あれ、何か議会報告会じゃねんか。議会報告会、やり方いろいろ変えて、議会報告会の。市民から苦情を聞く委員会って、苦情を聞くんじゃったら、また聞くようなことをやってもらわにやあおえんと思う。

いや、わかるかな、言ようことが。

○委員長（下山哲司君） わかります。

○委員（北川勝義君） ちょっと変な流れになっとる。じゃあから、もう進行しようる者が議会報告会ですからというのをぱちっとやってもらわにや。前、あんた、議員にならんで来て質問しようたが。しようたがな。オダユリコさんが悪いとかというてやりようたがな。おめえ、やりようた。

いやいや。出てねえけど、そういうなことは似たようなことは言うたがな。

やりようるときはぴちっと答える者が答えて、答えれなんたら答えていって、やりようたが。それじゃったらええんじゃ。そうじゃのうて、個人の何とかせえじゃとか何を交換してくれ、不要品を出してくれ、そねえな話ばあして、電気とかというのはもうおえんという法律でリサイクル法でおえんから、そういうなん危ねえというてなったとこ、それもしてくれ、そういうような話ばあ、わけのわからんもん。せえで、今度は、じゃけんやっぱりそこをな、ちょっと委員長、悪いけど、やるときに、もう議会報告会じゃけん、進行の人がぴしっとやるとか、各委員会でこう説明をぴちっとしますというて、そのくれえにしましょうや。そうせにやあ、言いてえことを、あれ、何時間あっても切りがねえわ。

○委員長（下山哲司君） 今回、内容についていろいろ検討しておりますので、また御協議の内容は……。

○委員（北川勝義君） まあ、ええんじゃけど、下山さん。

○委員長（下山哲司君） はい。

○委員（北川勝義君） ちょっとお願いをしとく。もう余り何やかんや考えて、国会議員になったんじゃねんじゃから、赤磐市の小めえことをしょんじゃけん、もうぼつけせずに、せにゃあおえんけど、今、この間やって、やりようたことは、区長さんにお話しすりゃあええことばあが出とんじゃが。ちょっと毛が生えたようなことが。じゃけん、我々がせにゃあおえんことは議会報告会じゃから、議会報告会やっていきましょう、議会基本条例に基づいてやりましょうというように、そういうやり方をしてもらいてえん。もう区長さんが。ほんなら、要らんがな。区長手当出してからと思うたんです。

○委員長（下山哲司君） 一応御報告までで、次の全協には説明できるようにさせていただきます。そういうことでよろしくお願いします。

ほかにありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（下山哲司君） なければ、以上をもちまして第7回議会運営委員会を閉会といたします。

御苦労さまでした。

午後0時12分 閉会